

賢者・患者



発見が遅れる口腔がんも
検診が重要

「舌がんを含めた口腔がんは、是非とも早期に発見してほしい。口の中は鏡を使えばいつでも見ることができるのですから……」

東京銀座シンタニ歯科口腔外科クリニック（東京都中央区）の新谷悟院長（前昭和大学歯科病院口腔外科教授は強く訴える。それは「鏡を使えば見える」にもかかわらず、実際には口腔がんが早期で発見される率があまりに低いからである。口腔がんの患者は年間約7000人、ところが約3000人が死亡していることでそれが十分理解できるだろう。

新谷院長は口腔がんの早期発見・早期治療のために『口腔がん検診』に力を注いでいる。

「口腔がんになる前の段階、いわゆる前がん病変、前がん状態に対する対応も重要です。これらの粘膜の変化を正確にとらえ、慎重に経過を診たり、細胞診（綿棒やブラシで細胞をこすり取り、それを顕微鏡で調べる）を行ったりすることで、非常に早期の段階で口腔がんを発見することができず。そこで、私はみなさんに年に2度の検診をお勧めしています。口腔がんが早期のⅠ期、つまり腫瘍が2センチ以下でリンパ節転移がない状態であれば患者さんと治療について十分に話し合い、手術であれば私がクリニックで行います。クリニックで対応できる域を超えたと提携している大病院へ紹介します」

口腔がんでも早期の舌がんであればその治療は低侵襲治療。いわゆる“身体にやさしい治療”である。

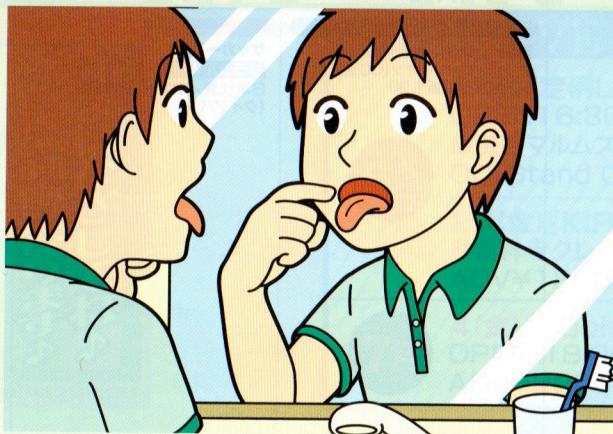
「さらに、今日では前がん病変の段階で
切除し、慎重な経過観察と予防を行う
ことで、口腔がんに移行することを防ぐ
ことができます」

早期の舌がんであれば故・石原裕次郎さんのように術後にもそれまでと変わらず

歌うこともできる。もちろん、手術以外の治療の選択肢もある。

「小線源療法、サイバーナイフ、陽子線治療などがあります。その他に患者さんが希望されれば免疫療法もあります」

たが基本は、身体にやさしい治療を受けるためにも早期発見。「口内炎が2週間たつても治らない」「舌、歯肉、頬の粘膜などに白斑がある」「舌、歯肉、顎の粘膜などに赤斑がある」という状態に気付いたならば、ためらうことなく、すぐに口腔外科、耳鼻咽喉科でチェックを受けるべきである。



1951年富山県生まれ。中央大学卒業。医療最前線の社会的問題に取り組み、高い評価を受けている。朝日放送『みんなの家庭の医学』監修協力など、テレビ、ラジオ、新聞、週刊誌などで幅広く活躍。日本医学ジャーナリスト協会の幹事。東邦大学医学部客員教授。

松井 宏夫
(まつい・ひろお)

「1000円分の商品券をプレゼント!!」
応募しやすくなりました!!

【賞品】1000円分の商品券 30名様 【応募方法】応募券1枚を1口として応募できます。このページの応募券をハガキにセロハンテープ等でしっかと貼り、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を明記して応募ください。【応募先】〒104-0045 東京都中央区築地3-7-2F 日刊スポーツエンジェンジャー「6月号」お客様プレゼント係
【締切】6月15日(当日必着)※賞品の発送をもって当選の発表とします。

これまで3号分 (3カ月分)
必要だった応募券が、
このページの応募券1枚
から応募可能に！

ニッカン+懸賞情報誌
応募券 201
6月

**ニッカン+お客様感謝プレゼントについて
の応募方法、応募先等は次の通りです。**

【応募方法】ハガキに ①希望賞品番号 ②郵便番号
③住所 ④氏名 ⑤年令 ⑥職業 ⑦電話
番号 ⑧ニッカン+のご感想を明記。

【応募先】 〒104-0045 東京都中央区築地3-7-27F
日刊スポーツエージェンシー
「6月号 お客様プレゼント」係 携帯から

[締切] 2014年6月15日(当日必着)

【発表】 賞品の発送をもって当選の発表とします。

**懸賞内容の
見方とご注意**

※当選の権利は、他人へ譲渡・換金は出来ません。
 ※応募いただいたバガワンの個人情報、当選された方のみを保管いたします。場合により商品提供企業へプレゼント発送に必要なリスト(郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号)のみを連絡させていただきます。必ず年齢欄への未成年の方の応募はご遠慮ください。



フリーチャーフオン用

スマートフォン用▶